

TERZO

EH264 MAZDA MPV (H11.6 ~ /LW#) 専用ホルダーセット 取扱説明書

この度は、TERZO製品をお買い上げ頂きまして、誠にありがとうございます。
正しくお使い頂く為に、取扱説明書を良くお読みください。
この取扱説明書はなくさないよう、大事に保管しておいてください。

※この本文中の **△注意** マークと **△警告** マークは、取り付け上に関する重要な注意事項です。
安全かつ確実に作業して頂く為、必ず厳守してください。

お客様へお願い ……この商品を貸したり譲ったりする場合は、必ずこの取扱説明書を含めてお渡しください。

取付店様へお願い ……この取扱説明書は、取り付け後必ずお客様へお渡しください。

本ホルダーセットは、フットセット及びバーセットと組み合わせてご使用ください。
尚、フットセットに添付されている取扱説明書にもキャリアの組み立て手順が記載されてお
りますが、本車種に取り付ける場合は、本取扱説明書に従って、キャリアを組み立て車両に
取り付けてください。

使用上のご注意

△注意

- 作業は必ず2人以上で行なってください。
- 車体のバラツキにより、ホルダーがドアに接触する場合があります。フットの位置を調整しても改善されず、接触がはなはだしい場合は、ディーラー等でドアヒンジの調整を行なってください。未調整のまま使用すると、ドア塗装のはがれ及びドアパッキンの破損等につながる場合があります。
- キャリアにより、車両にキズを付けないよう充分注意して作業を行なってください。
- ボルト類の締め付けは、確実に行ってください。
- キャリアの取り付け、取り外し及び荷物の積み降ろしは、平らな場所で十分なスペースと安全を確保して行ってください。車両は、ギアをニュートラル又はパーキングポジションにし、サイドブレーキをかけ、エンジンを停止させて、キー（鍵）を抜いておいてください。
- キャリアには、キャリアの前後間寸法×5倍以上の長尺物は積まないでください。又、車両の全長×1.1倍を出ないように積載してください。
- 走行前及び走行後には必ず、ボルト類のゆるみがないか点検及び増し締めを行ない、ガタツキがない事を確認してください。ガタツキのあるまま走行すると、脱落の危険があります。必ず走行前にボルト類のゆるみがないか点検し、ゆるみがある場合は増し締めを行なってください。
- キャリア装着時、最高速度は法定速度以下におさえ、急旋回、急ハンドル、急発進、急ブレーキを避け、運転には充分ご注意ください。
- 荷物積載時には、悪路等において過度な運転をすると車体のルーフが変形する恐れがありますので、絶対に過度な運転はしないでください。悪路走行時はスピードを充分におさえ、ゆっくりと走行してください。
- キャリア積載時、車高が高くなりますので、屋根付き駐車場、トンネル、高架等の高さ制限のある場所では、制限内であることを確認してください。又、木々の繁った場所での走行は充分ご注意ください。
- キャリア装着時には、洗車機での洗車はできません。洗車機での洗車により、キャリアの傷付き、ルーフの変形、その他が起こる場合があります。
- ベースキャリア本体の許容荷重は50kgまでです。ベースキャリアと各アタッチメントを組み合わせた際、別売のアタッチメントを含めて許容荷重は50kg以下で使用してください。
- キャリアには、用途に合わせ専用のシステムギアをご使用ください。専用システムギアをご使用頂かないと、積載物の積載はできません。

メンテナンスについて

- キャリアは防錆性に優れていますが、長くお使い頂く為に、メンテナンスを行なってください。
- キャリアの塗装及び、コーティングにキズ等が付きましたら、錆の発生の原因となりますので、タッチペイント等でキズ等を修正してください。
- 汚れを拭き取る場合は、中性洗剤を使用して柔らかい布かスポンジで拭き取ってください。尚、レザーワックス、タイヤワックス及びシンナー等、有機溶剤は使用しないでください。
- ボルト類は時々動かしてください。長時間放置しますと、異物等の付着により動かなくなる場合があります。
- 保管する際には、きれいに清掃して水気のない所に保管してください。
- 外した部品は紛失しないよう、保管方法に留意してください。

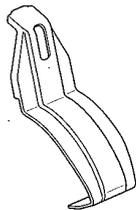
内容品

※梱包品が全部揃っている事を確認してください。足りない場合は、お買い上げの販売店にご連絡ください。

※部品を紛失した場合は、下記のTP品番で取り寄せできますので、お買い上げの販売店にご連絡ください。

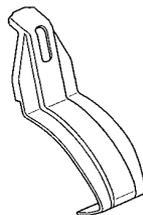
尚、下記TP品番に表示されております価格は、全て税込み価格です。

①フロント用ホルダー
[No.6102] [2枚]



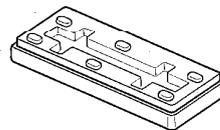
[TP6102 : ¥1,050 (1枚)]

②リア用ホルダー
[No.6120] [2枚]



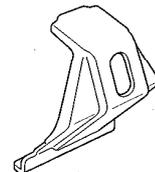
[TP6120 : ¥1,050 (1枚)]

③スリットベース
[No.703] [4枚]



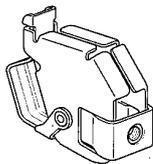
[TP703 : ¥315 (1枚)]

④アシストカバー [4枚]

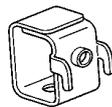


[TP95 : ¥840 (1枚)]

⑤ホルダーブロック [4個] ⑥ジョイント [4個] ⑦キーケース Ass'y [4個]



[TP93 : ¥1,260 (1個)]

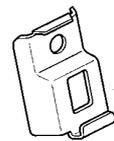


[TP94 : ¥840 (1個)]



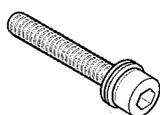
[TP89 : ¥1,260 (1個)]
(ロックベース無/キー2枚)

ロックベースは、キーケースに組み込まれています。紛失した場合には、右記のTP品番にてお取り寄せできます。



ロックベース
[TP88 : ¥210 (1枚)]

⑧取付ボルト [4本]



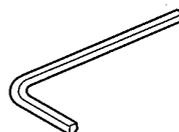
[TP87 : ¥315 (1本)]

⑨スポンジパッキン [8枚]



[TP92 : ¥210 (8枚)]

⑩六角レンチ [1本]



[TP91 : ¥315 (1本)]

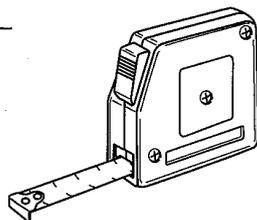
⑪キー [2枚]



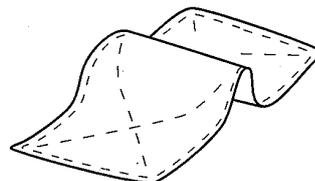
[PRTT : ¥840 (2枚)]

必要工具

●メジャー



●ウエス



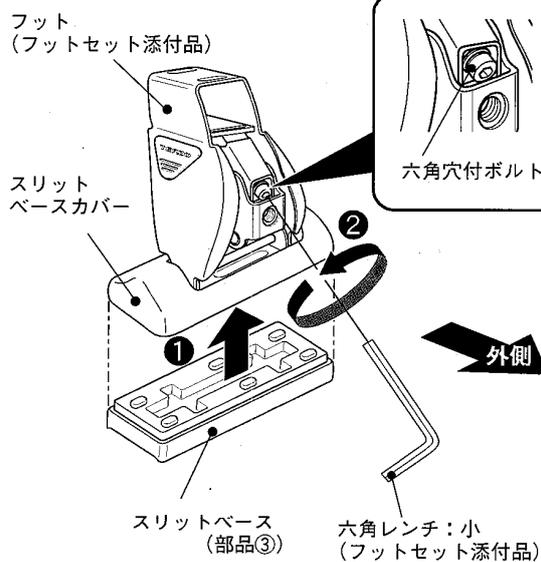
[1] ベースキャリアの組み立て

[1] ルーフの洗浄

ルーフの汚れ、ほこり等をきれいに落としてください。
ほこり等が付着したままキャリアを積載すると、ルーフに傷が付く場合がありますのでご注意ください。
※ 別売の『EA19 アンダーシート』をご使用頂くと、ルーフの傷付き防止に役立ちます。

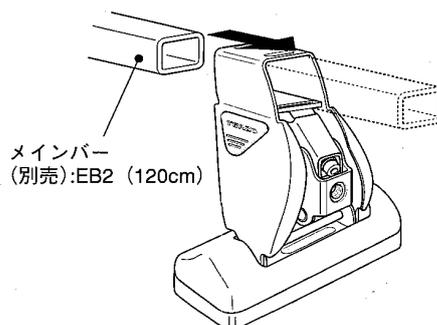
[2] フットの取付準備

- (1) スリットベース (部品③) を、別売の『ルーフオンタイプフットセット』に添付されているフットの、スリットベースカバーにしっかりと取り付け、フットの六角穴付ボルトを六角レンチ：小 (フットセット添付品) でゆるめてください。(六角穴付ボルトをゆるめないと、メインバーを通す事はできません。)

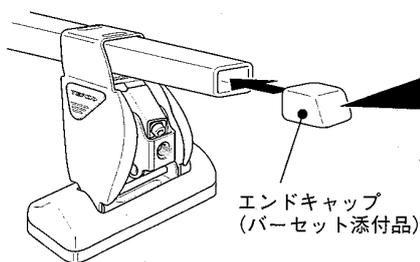


- (2) フットに別売のメインバー：EB2 (120cm) を通してください。

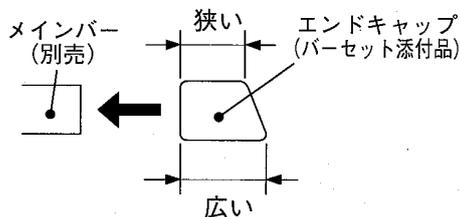
※上記メインバー：EB2 (120cm) は、推奨のメインバーサイズです。装着するシステムギア及び積載する荷物によっては、EB2 より長いメインバーを使用する場合があります。



- (3) 別売の『バーセット』に添付されているエンドキャップを、通したメインバーの端部にしっかりと取り付けてください。



エンドキャップの向きに注意して取り付けてください。



⚠️ 注意

- システムギア等を同時にセットする場合は、システムギアの取扱説明書も同時に参照してください。
- ベースキャリアのセッティングと並行して取り付けるシステムギアもありますので、ご注意ください。

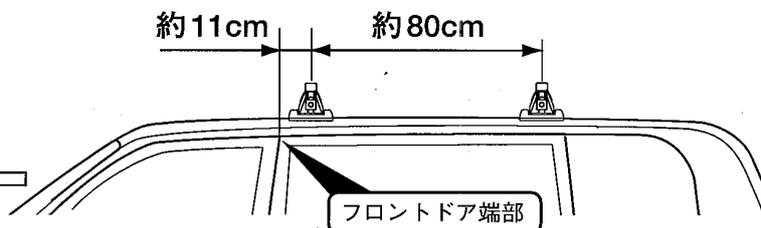
【2】 車両 (MAZDA MPV) への取り付け

[1] ベースキャリアの車体へのセット

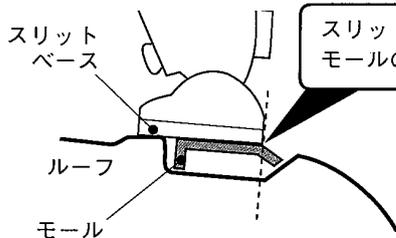
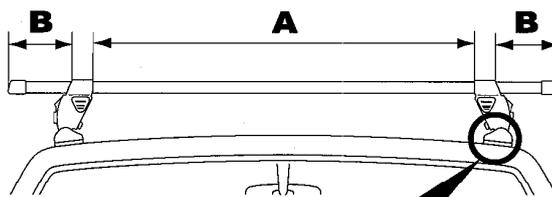
ベースキャリアを下図の位置にセットし、フットから外側に出ているメインバーの長さを左右同じに調整してください。

車両を真横から見た図

フロント方向



車両を正面から見た図



スリットベースの端部をモールの角に合わせる



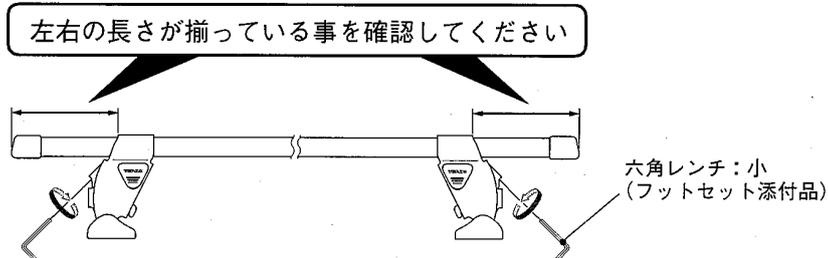
A 寸法 フロント側 : 約93.5 cm
リア側 : 約89.0 cm

B 寸法 フロント側 : 約9.0 cm
リア側 : 約11.5 cm

※上記の B 寸法は、EB2(120cm)をメインバーに使用した場合の参考寸法です。
数値はあくまで目安ですので、キャリアを取り付ける際はフットをセットする位置に注意しながら、作業を行なってください。

[2] メインバーの固定

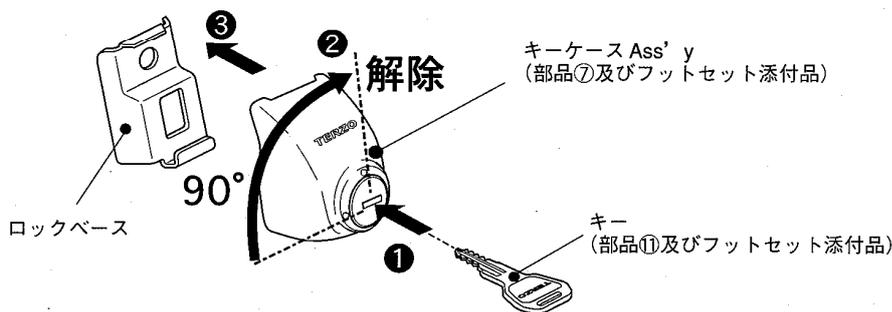
フットの内側に付いている六角穴付ボルトを、フットセットに添付されている六角レンチ：小にて締め付け、メインバーを固定してください。



締め付けトルクは、約 $5\text{N}\cdot\text{m}$ を目安に締め付けてください。

[3] スポンジパッキンの貼り付け

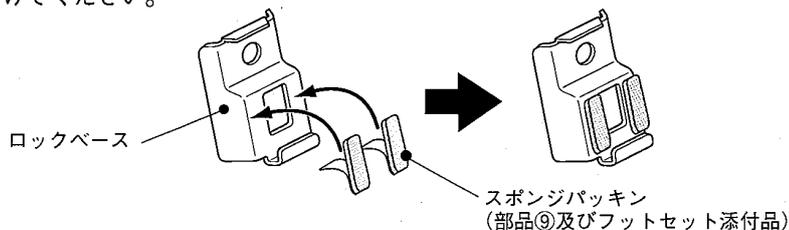
(1) キーケース Ass'y (部品⑦及びフットセット添付品) にキー (部品①及びフットセット添付品) を差し込み、ロックを解除しロックベースを取り外してください。



⚠ 注意

- キーケース Ass'y 及びキーは、本製品 (EH264) の添付品とフットセットの添付品の2種類があります。
本製品 (EH264) のキーケース Ass'y (部品⑦) には、本製品 (EH264) のキー (部品①) を、フットセットのキーケース Ass'y には、フットセットのキーをご使用ください。

(2) スポンジパッキン (部品⑨及びフットセット添付品) の保護紙を剥がして、ロックベースに貼り付けてください。

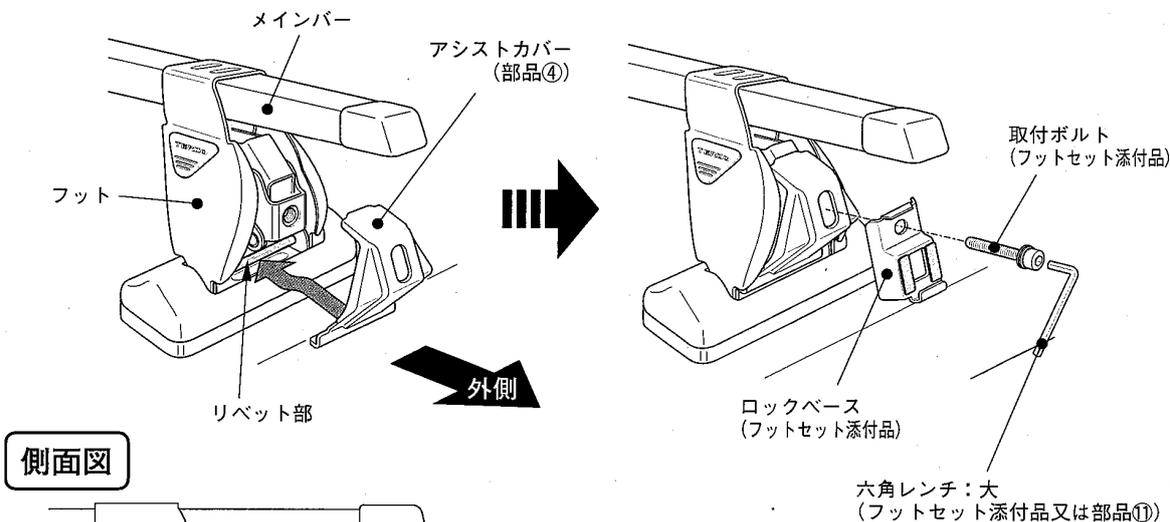


(3) (1) (2) の作業を8個共全で行なってください。

[4] フットの固定

フットにアシストカバー（部品④）を組み付け、ロックベース及び取付ボルト（フットセット添付品）にて固定してください。

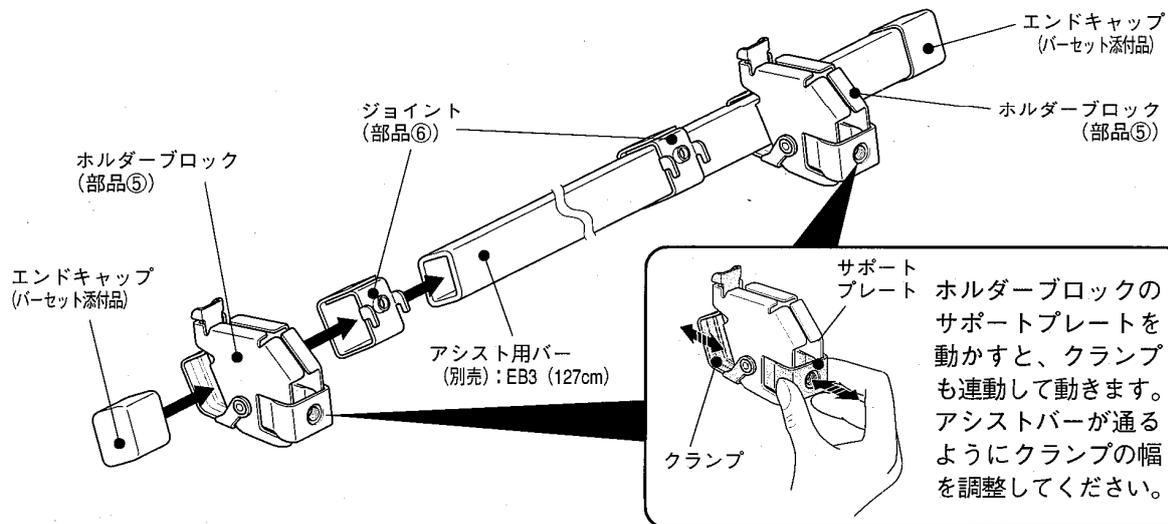
※ 反対側も同様に作業を行なってください。



[5] アシストバーシステムの組み立て

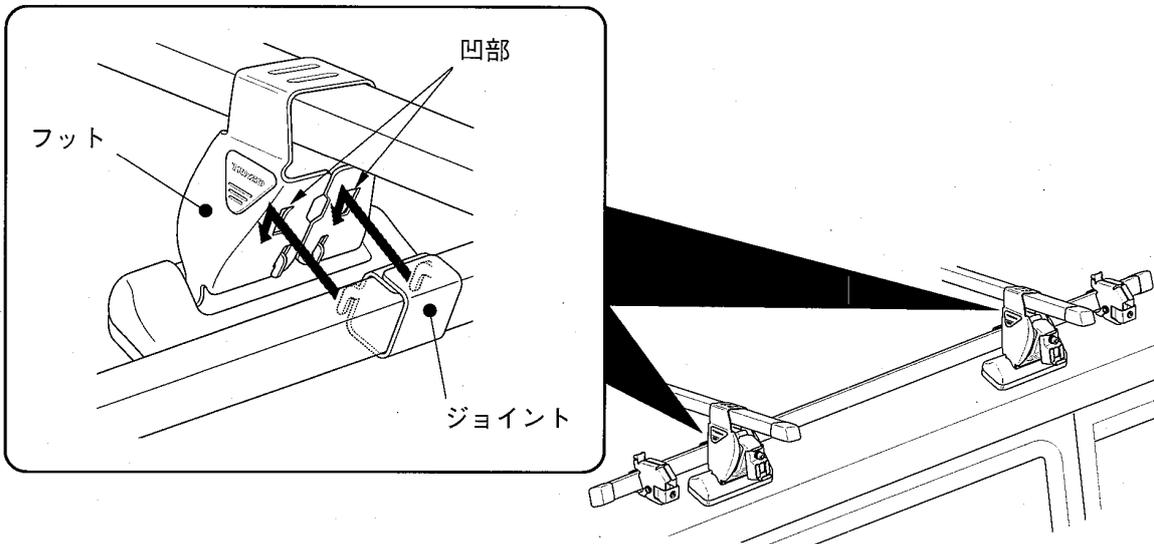
ホルダーブロック（部品⑤）及びジョイント（部品⑥）を別売のアシスト用バー:EB3（127cm）に下図の順序で通し、両端部にエンドキャップ（バーセット添付品）を取り付けてください。

※ 取り付ける向きにご注意ください。



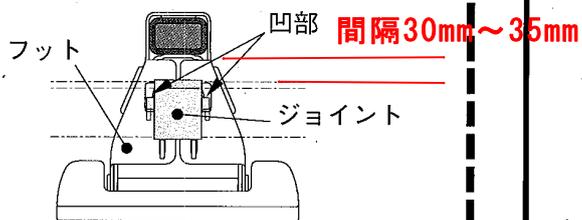
[6] アシストバーシステムの仮セット

- (1) 仮組みしたアシストバーシステムを前後のフットにセットしてください。
フット裏側の凹部に、アシストバーシステムのジョイントを確実に引っ掛けてください。

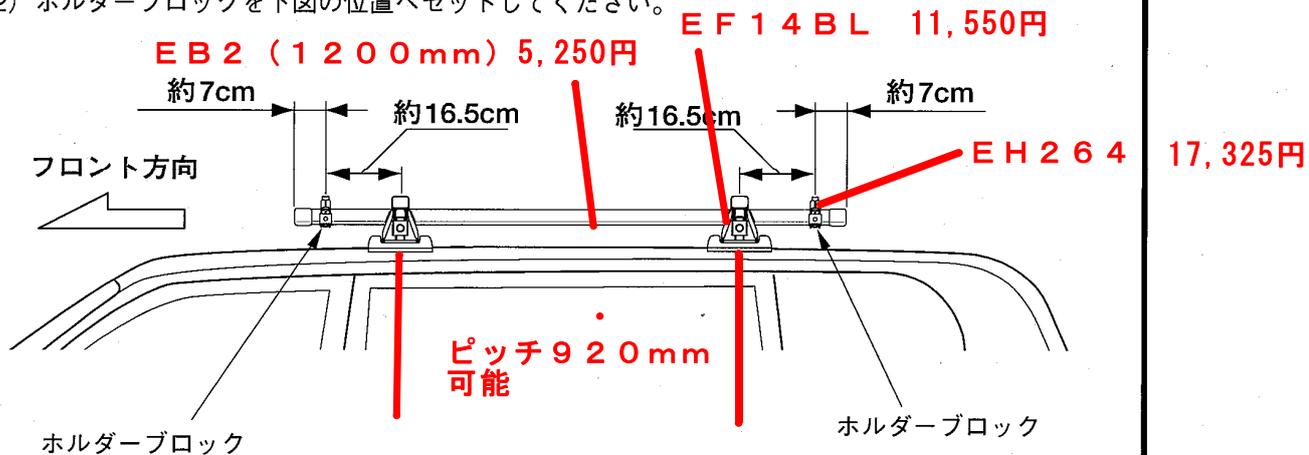


⚠️ 注意

● ジョイントが確実にフット裏側の凹部に引っ掛かっているか、必ず確認してから手を離してください。誤って落とすと、ルーフのキズ及び、へこみ等につながる恐れがあります。



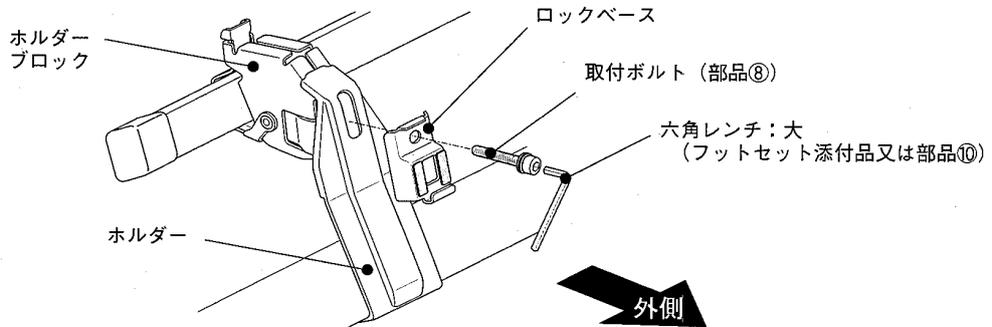
- (2) ホルダーブロックを下図の位置へセットしてください。



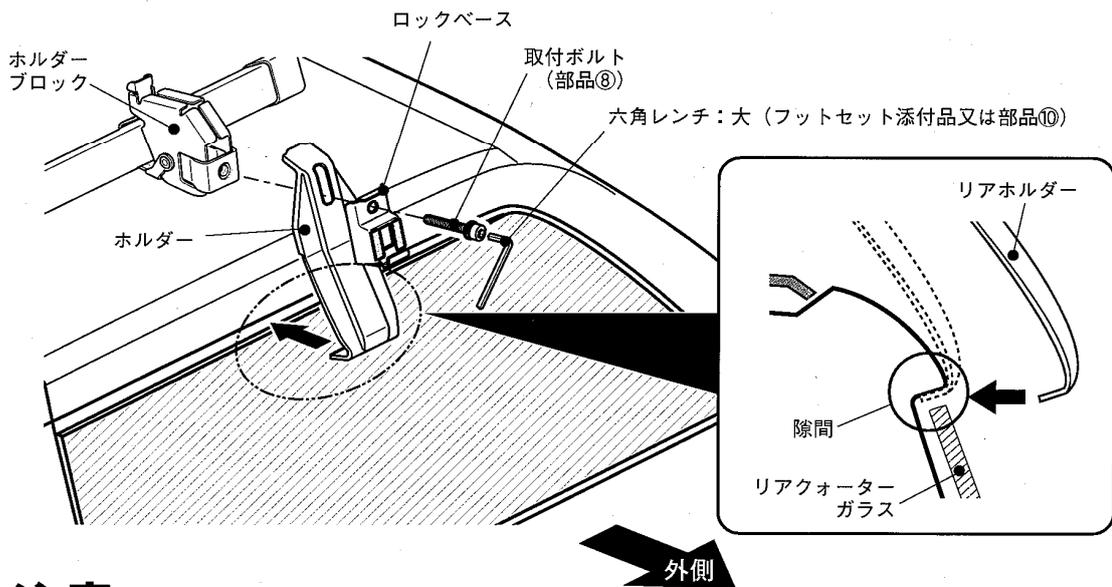
- (3) アシストバーシステム取り付け後、フットの位置がずれていない事を確認してください。
(前述 [1] ベースキャリアの車体へのセット参照)

[7] アシストバーシステムの車体への固定

- (1) 左右のドアをいっばいに開け、フロント用ホルダー（部品①）を車体に引っ掛けながら、フロント側のホルダーブロックにセットして、取付ボルト（部品⑧）、ロックベースにて軽く仮止めしてください。反対側も同様に仮止めしてください。

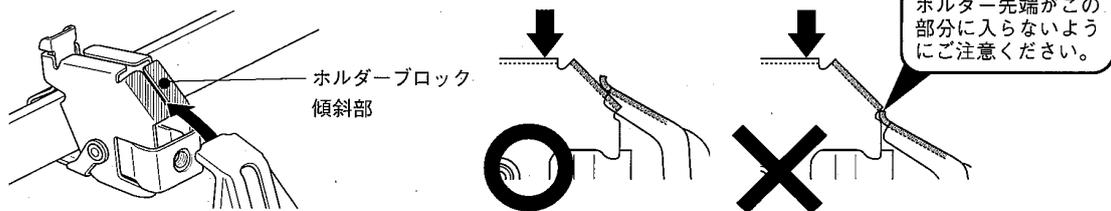


- (2) (1) と同様の手順で、リア用ホルダー（部品②）をリア側のホルダーブロックに仮止めしてください。（リア側ホルダーは、リアクォーターガラスの上のボディとの隙間に差し込むようにして取り付けます。）



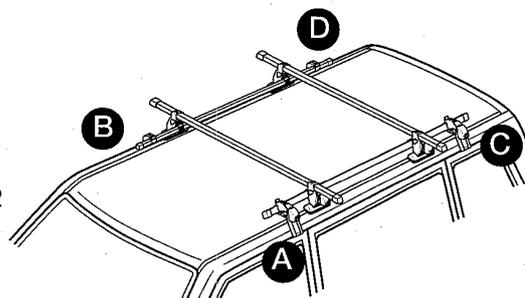
注意

- ホルダーをセットする際、必ずホルダーブロックを下へ押しつけながら、ホルダーの先端がホルダーブロック傾斜部に乗るようにセットしてください。

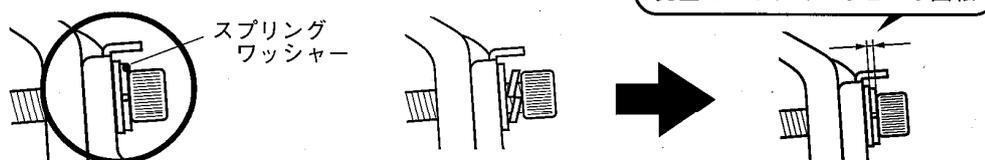


(3) 全てのホルダーを仮止めしたら、下記の手順で4ヶ所が均等に締まるよう、取付ボルトを六角レンチ：大と本製品に添付されている六角レンチ（部品⑩）にて締め付けてください。

- ①：フロント側、リア側（A、B、C、D）のホルダーが、取付ボルトの仮止めにより、4ヶ所共ガタツキがない状態になっている事を確認してください。ガタツキがある場合は、ガタツキがなくなるよう取付ボルトを手で回し、仮止めしてください。
- ②：フロント側（A、B）を2人で同時に、各々2回転締め付けてください。
- ③：リア側（C、D）を2人で同時に、各々2回転締め付けてください。
- ④：②③の作業を、取付ボルトの締め付けトルクが 4N・m になるまで繰り返してください。



トルクレンチがない場合、締め付けの目安としては、下図の通り、スプリングワッシャーが完全につぶれてから2回転から3回転です。



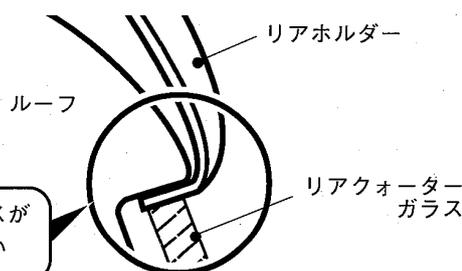
上記以上に締め込むと、車体のホルダー接触部分等に凹みや変形が発生し、車体が破損してしまう恐れがありますので、必ず、トルクレンチを用いて規定トルクで締め込むか、上記目安に従って、締め込んでください。

又、走行後に、若干のなじみが発生し、ボルトがゆるんでしまう場合があります、そのままの状態では走行を続けると、キャリアの脱落につながり大変危険ですので、定期的に、ボルトのゆるみの点検を行ってください。スプリングワッシャーのつぶれが戻っていたり、ボルトがゆるんでいた場合は、上記の締め込み程度に従い、増し締めを行ってください。

⚠️ 注意

- ホルダー締め込み後、スリットベースの位置が最初にセットした位置より左右どちらかへ極端に（約5mm以上）ずれている場合は、スリットベースとホルダーブロックを正しい位置にセットして（1）の作業からやり直してください。
（前述 [1] ベースキャリアの車体へのセット / [6] アシストバーシステムの仮セット参照）

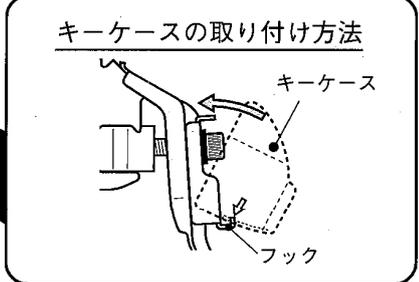
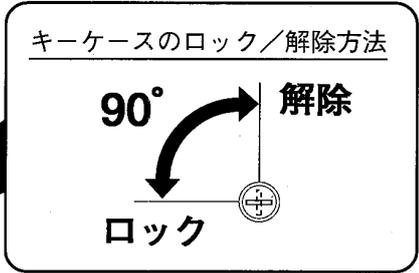
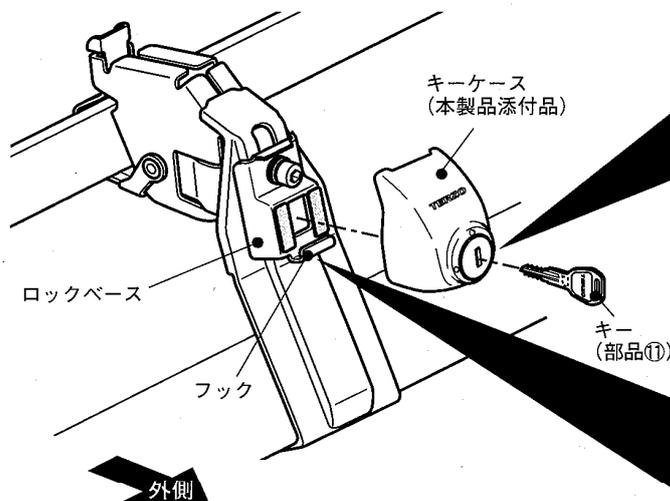
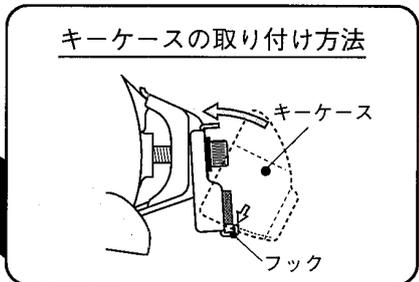
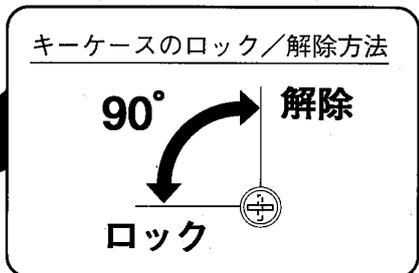
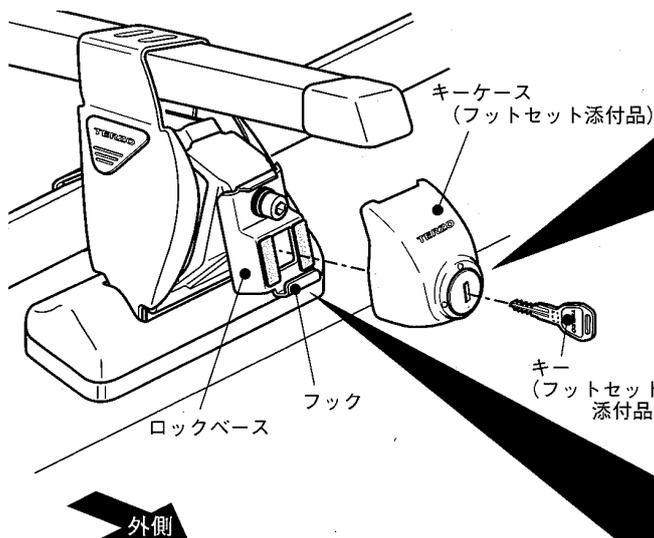
(4) ベースキャリア取り付け後、リア側のホルダーがリアクォーターガラスに干渉していない事を確認してください。干渉している場合は、ディーラー等でリアクォーターガラスの位置調整を行ってください。



リアホルダーとリアクォーターガラスが干渉していない事を確認してください

[8] キーケースの取り付け

- (1) キーケース(本製品及びフットセット添付品)をロックベース下部のフックに引っ掛けてから、ロックベースにかぶせてください。
- (2) キーケースを指でしっかり押さえながら、キー(部品①)及びフットセット添付品)でロックしてください。キーケースが確実に固定されているか、必ず確認してください。

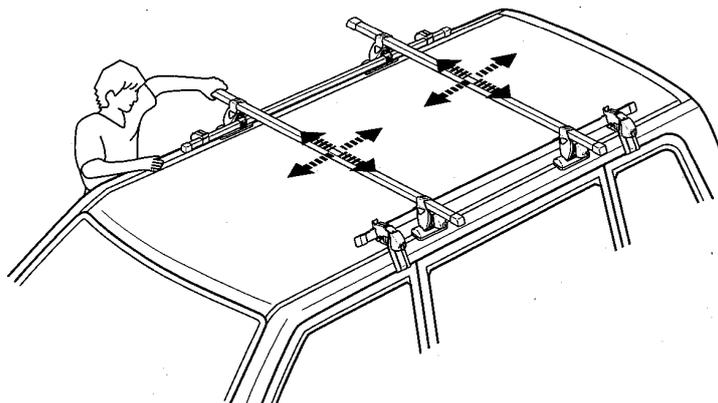


⚠ 注意

- ロック及び解除の際は、キーを90°確実に回してから抜いてください。
- キーケースをかぶせる前に、キーロックが「解除」位置にある事を確認してください。「ロック」位置では、フットへの取り付けができません。
- キーケースをロックベースのフックに確実に引っかけてください。
- キーケース Ass'y 及びキーは、本製品 (EH264) の添付品とフットセットの添付品の2種類があります。
本製品 (EH264) のキーケース Ass'y (部品⑦) には、本製品 (EH264) のキー (部品①) を、フットセットのキーケース Ass'y には、フットセットのキーをご使用ください。

[9] 取り付け後の確認

- (1) 取付ボルト類のゆるみの有無を確認してください。
ゆるみがある場合は、増し締めを行なってください。
- (2) キャリアを軽くゆすり、フット及びホルダーにガタツキがないか確認してください。
ガタツキがある場合は、取付ボルト類の増し締めを行なってください。
又、メインバーの固定が確実であるか確認してください。
- (3) 試験走行を行ない、ゆるみが出た場合は再度増し締めを行なってください。



△注意

- ガタツキがあるまま走行すると、車両ルーフの変形やベースキャリア脱落の恐れがあります。
- 定期的にキャリアのガタツキの有無及び、取付ボルトのゆるみがないか確認してください。万一、ゆるんでいる場合は、必ず増し締めしてください。

[3] 取り外し方法及び保管

[1] 取り外し方法

- (1) 作業場所と車両の準備をして、システムギア及び積載物を車上から全て降ろしてください。
- (2) キーケースを外し、取付ボルトをゆるめ、ホルダーを外してください。
- (3) アシストバーシステムをベースキャリアから取り外してください。
- (4) ベースキャリアを車両から取り外してください。
(ベースキャリアの取扱説明書を参照してください。)
- (5) 外したホルダー、ロックベース及び取付ボルト類は、フットに再度取り付けて保管してください。

△注意

- 2人以上で作業を行なうと、より簡単に取り外せます。
- ベースキャリアにより、車両にキズを付けないよう充分注意して作業を行なってください。
- 外した部品は紛失しないようにしてください。
- キャリアを外して保管する場合は、きれいに清掃して水気のない場所に保管してください。

[2] 再取り付け時のご注意

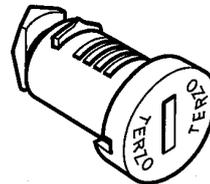
- 部品が全て揃っている事及び損傷がない事を確認してから本取扱説明書に従って作業してください。
- 万一、部品に異常が認められた場合は、お買い求めの販売店にお問い合わせください。

TERZO オプションパーツ

EA59 / EA60 マスターキーシステム

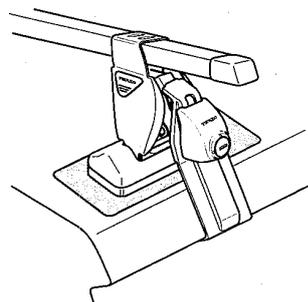
ベースキャリアやシステムギアのキーシリンダーをマスターキーシステムに交換すると、交換した全アイテムのキーNo.が統一でき、1枚のキーで全てのロック/解除を行なう事ができます。

- EA59 / マスターキーシリンダー 4個セット
- EA60 / マスターキーシリンダー 8個セット



EA19 アンダーシート

車両ルーフ上の傷付き防止に役立ちます。



TERZO SPORTS PROJECT JAPAN

PIAA (株) 本社・青山 東京都渋谷区神宮前5-52-2 TEL 03-5423-5011 (TERZO事業本部)

■ 札幌事業部：011-232-5755 ■ 仙台営業所：022-711-0511 ■ 新潟営業所：025-228-2231 ■ 金沢営業所：076-260-0351 ■ 名古屋営業所：052-232-2299
 ■ 大阪営業所：06-6337-1171 ■ 広島営業所：082-261-4311 ■ 高松営業所：087-831-4881 ■ 福岡営業所：092-852-5370